

参加者氏名 フリガナ					
所属施設・病院					
電話番号					
FAX 番号					
E Mail					
部屋のご希望	<input type="checkbox"/> 1部屋 名(相部屋)を希望します。 <input type="checkbox"/> 1部屋1名を希望します。 同室希望者氏名()				

FAX 申込書 FFR ワークショップ事務局 FAX 03 3247 6271

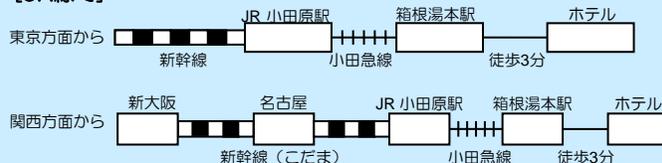
Venue

湯本富士屋ホテル
〒250-0392
神奈川県足柄下郡箱根町湯本256-1
TEL: 0460-5-6111
FAX: 0460-5-6420
E-mail: yf.shukuhaku@fujiyahotel.co.jp
http://www.yumotofujiya.jp/index.html

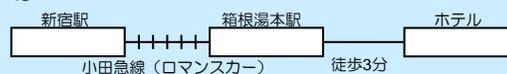
ACCESS



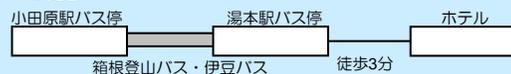
[JR線で]



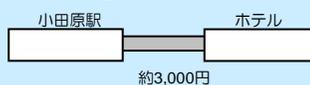
[小田急線で]



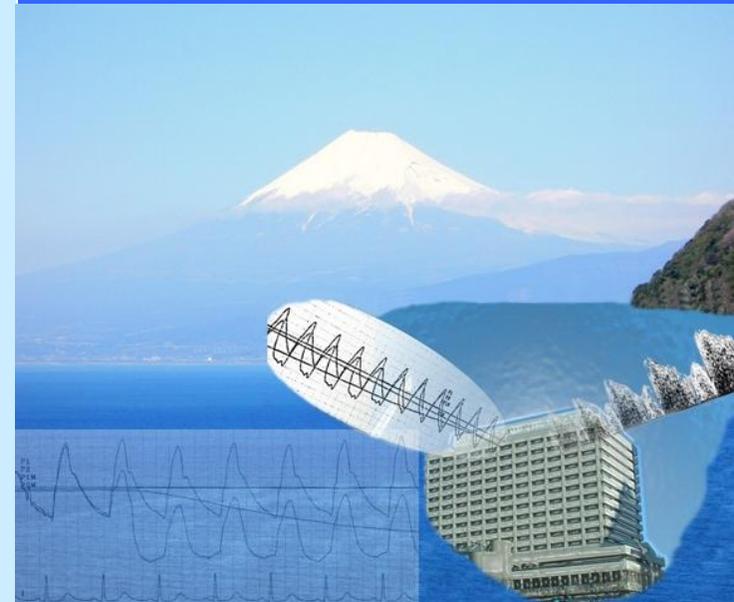
[路線バス15分]



[タクシー 約10分]



2010 5th FFR Workshop in Japan



FFR Club Japan
www.ffrclub.com

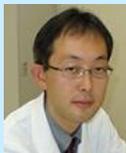


2010年3月12日~13日
箱根湯本富士屋ホテル

主催：東京医科大学循環器内科
FFR ワークショップ

■ 第5回 FFRワークショップ開催のご案内

東京医科大学循環器内科 田中 信大



心臓カテーテル治療の歴史において薬剤溶出ステントの出現は明らかに革新的なものでありました。再狭窄は激減し、治療の適応が大きく広がりました。しかしその一方で

(very) late thrombosisの問題から、カテーテル治療の長期予後に及ぼす影響が見直されるようになってきました。狭い所(狭く見える所)を闇雲に広げる、という治療が必ずしも良い結果(長期予後)につながらないということは明白であります。

個々の症例の治療方針を決定する際に、的確に個々の病変の重症度を評価する必要があります。欧州、米国ではESC、AHA/ACCのガイドラインにおいて、非侵襲的な負荷検査法と並んでFFRによる評価の有用性が掲載されていますが、日本においてはFFRを利用した診療を行っている施設は限られており、未だ広く応用されているとは言えません。

FFRをより多くの方々に理解していただくために、またFFRを通して冠循環の理解を深めていただき、ひいては虚血性心臓病の治療に貢献すべく本ワークショップを企画いたしました。FFR普及のためには、計測時のコツやpit fallなどを知っていただくことが重要であり、気軽に質疑応答、議論をしていただくため少人数に限定しました。また普段臨床に忙しい先生方だけに、日常から少し離れた山里にてしばしの間はFFRに没頭して頂くため、宿泊型と致しました。

箱根の湯煙の中、お会いできるのを楽しみにしております。

代表幹事：田中信大 (東京医科大学)

幹事：赤阪隆史 (和歌山県立医科大学)

松尾仁司 (岐阜ハートセンター)

藤田博 (京都第2赤十字病院)

民田浩一 (西宮渡辺心臓血管センター)

村上智明 (自治医科大学)

廣畑敦 (心臓病センター榊原病院)

顧問：高沢謙二 (東京医科大学八王子医療センター)

山科章 (東京医科大学)

1. 日時： 2010年 3月12日(金)18時30分ホテル集合
3月13日(土)15時ころ 解散予定

2. 会場、宿泊施設： 神奈川県箱根 湯本富士屋ホテル
コンベンションルーム箱根
TEL 0460(5)6111

3. 対象参加者：PCIを学ぶ過程の術者で、
FFRの臨床応用に興味をもたれる方。

4. 参加者人数：30名に限定させていただきます。
(応募先着順で決定させていただきます。)

5. 参加費(研究会会費)
医師：5,000円
コメディカル：1,000円
企業：10,000円
宿泊費(3食食事代含む)

1部屋2名宿泊 1人当たり 10,000円

1部屋1名宿泊 1人当たり 20,000円

※ 参加のお申し込みは、このパンフレットの申込書に必要事項
をご記入の上、1月29日までにFAXにてお願い致します。

* * * * *

3月12日(金)

17:30 箱根湯本駅より徒歩3分
ホテルロビーにて受付開始

18:30 会場集合

18:30-18:45 プログラムオリエンテーション

18:45-19:15 講演 1 冠循環の基礎

19:15-20:15 特別講演

20:30- 懇親会

* * * * *

3月13日(土)

7:00-8:00 朝食

8:00-12:00 症例(ビデオライブ)検討を中心とした講義

12:00-13:00 ランチョンセミナー

13:00-14:30 症例(ビデオライブ)検討を中心とした講義

14:30-15:00 まとめ

15:00 解散

■ 講義内容

- ・ FFRを理解するための冠循環の基礎
- ・ プレッシャーワイヤーのセットアップ
- ・ ワイヤーの操作
- ・ 最大充血を得るための各方法
(塩酸パパペリン、ATP経静脈投与)
- ・ 臨床症例での応用
- ・ Tandem lesion、diffuse lesionの評価
- ・ LMT病変の評価
- ・ PCI終了時の評価、圧引き抜き曲線の記録
- ・ 冠微小循環の評価
- ・ ピットフォール1：リニアシフト
- ・ ピットフォール2：ガイディングカテーテルの影響

* * * * *

なお、参加費は、2010年1月29日(金)までに、
下記口座にお振込み下さい。

銀行名：三井住友銀行 新宿西口支店

口座番号：普通預金 2564030

口座名：FFR ワークショップ

代表：進藤直久

■ お問合せ先

FFRワークショップ事務局 (ケイ・マーケティング内)

03-3247-6248 (担当：河村)

東京医科大学循環器内科医局

03-3342-6111 (内線 5900)

